

1 県経済の規模と構造

平成 17 年の総供給（＝総需要）は 12 兆 478 億円で、総供給（県内生産額 + 移輸入）のうち県内生産額は 8 兆 9,069 億円（73.9%）である。

また、総需要（県内需要 + 移輸出）のうち、県内需要は 8 兆 3,250 億円（69.1%）である。

図 1 平成17年産業連関表からみた富山県経済の構造

（単位：億円）

		総需要		120478						
		県内生産額		89069						移輸入 31409
		県内需要		83250						移輸出 37229
		中間需要		40751	最終需要					79727
総供給 120478	県内生産額 89069	中間投入 40751	中間生産物の取引 産出（販売）		県内最終需要					移輸出 37229
			投入（購入）		家計外消費支出	民間消費支出	一般政府消費支出	県内総固定資本形成	在庫純増	
				1787	21781	8415	10151	365		
			粗付加価値 48318	家計外消費支出	1787					
				雇用者所得	23572					
				営業余剰	10454					
				資本減耗引当	9441					
			間接税 - 経常補助金	3065						
			移輸入	31409						

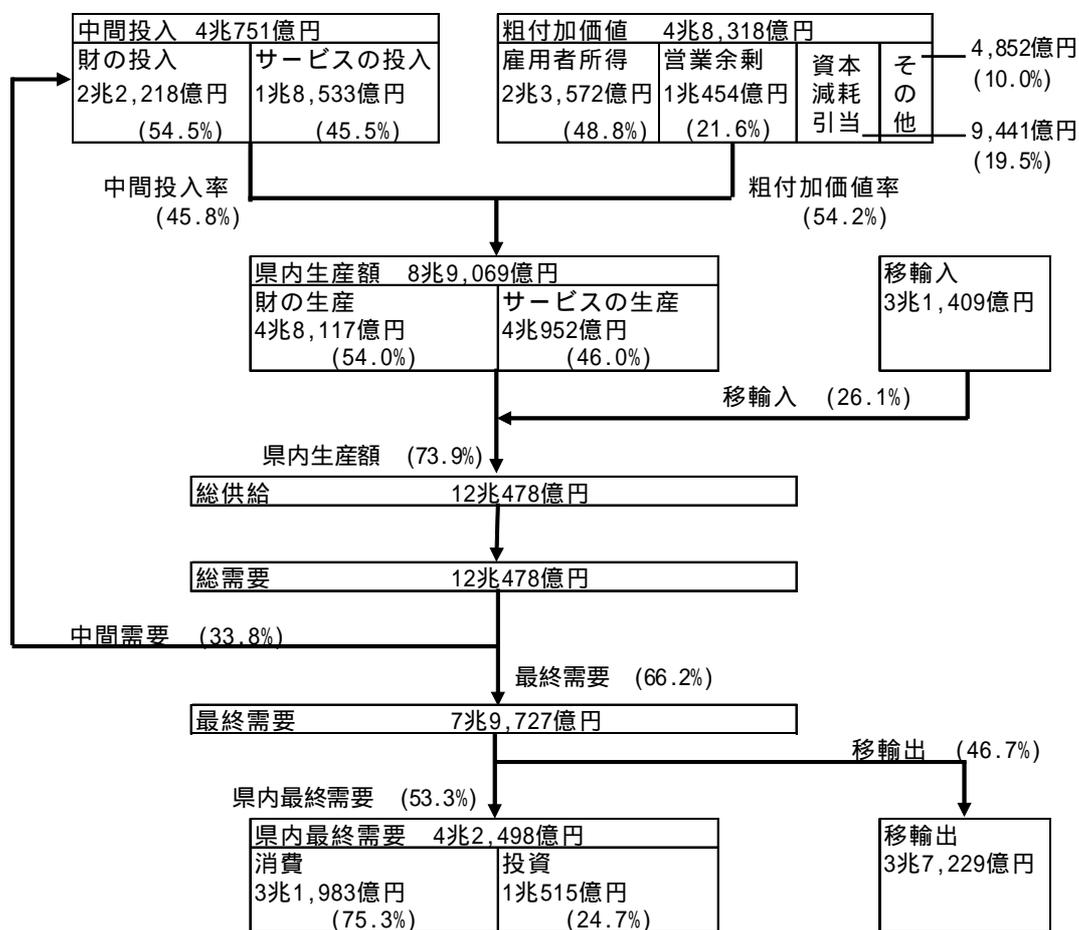
四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。

平成 17 年に県内で生産された財・サービスの総額（県内生産額）は 8 兆 9,069 億円である。そのうち 4 兆 751 億円(45.8%)が原材料等の中間投入であり、残りの 4 兆 8,318 億円(54.2%)は雇用者所得、営業余剰等の粗付加価値である。

総供給（＝総需要）は 12 兆 478 億円であり、総供給と県内生産額との差、つまり県内生産で足りない 3 兆 1,409 億円は移輸入で賄われる。

次に、需要側からみると、総需要のうち 4 兆 751 億円（33.8%）が各産業の生産活動に利用される中間需要（中間投入）である。残りの最終需要 7 兆 9,727 億円（66.2%）のうち、4 兆 2,498 億円（53.3%）は県内最終需要であり、消費・投資として県内で消費され、残りの 3 兆 7,229 億円（46.7%）は移輸出に向けられる。

図 2 平成17年産業連関表からみた財・サービスの流れ



- 1 34部門表による。「財」は01～20、33の合計、「サービス」は21～32、34の合計である。
- 2 ここでいう、「消費」とは、家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出をいい、「投資」とは、県内総固定資本形成及び在庫純増をいう。
- 3 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも合計と一致しない。
- 4 ()は、構成比を示す。